

令和 7 年度
山形県立保健医療大学保健医療学部
学校推薦型選抜試験

小論文

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題は 3 ページ、解答用紙は 2 枚です。
試験開始の合図とともに、直ちに問題冊子、解答用紙を点検し、印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および汚れ等があったら、手を挙げて監督者に知らせてください。
ただし、問題の内容や解答の仕方についての質問は受け付けません。
3. 監督者の指示に従って、解答用紙のすべてに受験番号・氏名を記入してください。
4. 解答は、解答用紙の解答欄に記入してください。
5. 解答用紙の※欄に記入してはいけません。
6. 解答用紙のホッチキス止めを切り離してはいけません。
7. 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいません。
8. 試験中は監督者に許可なく自席を離れたり、私語や談笑をしてはいけません。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

1

次の文章を読み以下の問いに答えなさい。

日本の高齢化と少子化を背景に、医療費、介護費の増加や医療・介護分野における人材不足は大きな社会問題となっています。様々な解決策が検討されている中でも、近年、ロボット技術の導入が注目を集めています。なお、ロボットの定義としては2006年にロボット政策研究会が示した「センサー、知能・制御系、駆動系の3つの要素技術を有する、知能化した機械システム¹⁾」とします。さて、ロボット技術の導入の例はさまざまです。医療分野では手術の際に繊細な動きを可能とする手術支援ロボットをはじめ、障がい者の歩行や排せつ動作を補助するロボットなどがあります。介護分野では、体重の重い利用者の方の乗移りの介助を支援するロボットや、最近ではAI（人工知能）やIoT（モノのインターネット）等の技術の飛躍的な発達により、会話や会話以外の方法でのコミュニケーションが可能なロボットや、高齢者の転倒や転落、徘徊を監視するセキュリティーロボット等が誕生しています。今後の日本の医療・介護分野では、関連専門職がロボット技術をどのように活用していくのかが重要な課題となると考えられます。

出典；

1) ロボット政策研究会報告書～RT革命が日本を飛躍させる～，ロボット政策研究会．

<https://www.jara.jp/various/report/img/robot-houkokusho-set.pdf>

問 医療・介護分野における「ロボット」と「人」によるサービス提供の今後のあり方について、両者のメリットとデメリットを示しながら、あなたの考えを600字以内で述べなさい。

2

次の表は、直近の A 国と B 国の平均寿命を示した後に、死因を上位から順に記載している。表を見て、A 国と B 国の保健・医療及び社会情勢の違いについて、推測できることを 600 字以内で書きなさい。

A 国 平均寿命 男性 81.1 歳・女性 87.1 歳	B 国 平均寿命 男性 74.8 歳・女性 80.2 歳
1 位. 悪性新生物（がん・腫瘍等）	1 位. 心臓病
2 位. 心臓病	2 位. 悪性新生物（がん・腫瘍等）
3 位. 老衰 ¹⁾	3 位. 不慮の事故
4 位. 脳血管疾患（脳卒中など） ²⁾	4 位. COVID-19 感染症 ⁷⁾
5 位. 肺炎 ³⁾	5 位. 脳血管疾患（脳卒中など）
6 位. 誤嚥性肺炎 ⁴⁾	6 位. 慢性閉そく性肺疾患 ⁸⁾
7 位. 腎不全 ⁵⁾	7 位. アルツハイマー型認知症 ⁶⁾
8 位. アルツハイマー型認知症 ⁶⁾	8 位. 糖尿病 ⁹⁾

- 1) 老衰：高齢者で他に記載すべき死亡の原因がない、いわゆる自然死の場合のみ用いる。
- 2) 脳血管疾患（脳卒中）：急性の脳血管障害で、脳の血管が破れたり詰まったりして、脳の細胞に酸素や栄養が届かなくなり、脳の働きに障害が起きる病気。急に手足がしびれる、言葉が出なくなる、激しい頭痛がする、などの発作が起こる。
- 3) 肺炎：細菌、ウイルス、真菌などさまざまな病原微生物が吸気を介して肺に入り込んで感染を起こす感染性のものと、間質性肺炎や薬剤性肺炎などの非感染性のものがある。
- 4) 誤嚥性肺炎：加齢や脳血管障害の後遺症などで嚥下機能が低下し、食べ物や飲み物が誤って気管に入る「誤嚥」が起こり、細菌が唾液や飲食物とともに気管支や肺に入って肺炎になる。
- 5) 腎不全：腎機能が徐々に低下し、正常なときの30%以下となり、尿量が減少し、体内の水分や電解質のバランスが乱れる状態。
- 6) アルツハイマー型認知症：認知症の原因となる代表的な疾患であり、認知症のうちの約6割はアルツハイマー型認知症で、発症するとゆっくりと進行し、亡くなるまで10年以上にわたり認知症の症状が続く。
- 7) COVID-19 感染症：新型コロナウイルス感染症
- 8) 慢性閉そく性肺疾患：肺気腫や慢性気管支炎、または両者が併発した閉そく性換気障害などの総称。喫煙が主な原因で、別名「たばこ病」と呼ばれている。
- 9) 糖尿病：血糖値（血液中に含まれるブドウ糖の濃度）が高い状態になる病気。血糖が高い場合は、のどがかわく、水をよく飲む、尿の回数が増える、体重が減る、疲れやすいなどの症状が出る場合もあるが、多くの場合は気づかないうちに進行し、糖尿病と診断されたときには合併症をひき起こしていることも少なくない。

出典：

- 1) 厚生労働省：令和6年度版死亡診断書（死体検案書）記入マニュアル
https://www.mhlw.go.jp/toukei/manual/dl/manual_r06.pdf
- 2)～9) ㈱保健同人フロンティア『みんなの家庭の医学』Web版、一部改変 <https://kateinoigaku.jp/disease/>